



打撃で昨秋の県大会、近畿大会を勝ち上がった関西学院だが、守りは鍛えられている



小柄なエース・碑(左)が、関西学院のマウンドを守る

春(右)、夏(左)の全国大会優勝旗のレプリカが、関西学院野球部の頼みの実績を物語る



は180度異なる、横手の変化球投手。関大一はバッテリーがしっかりしていると思います。でも、対戦したら負けたくないです」と腕をふる。

関大一の選手からは、校風を反映してか威勢のいい言葉が多く飛び出した。関学は、あの長髪が好きになれない(笑)。やっぱり高校野球は丸刈りでしょう。でも、ホンはボクも伸ばしたいんですけど」と言って顔をさする選手。

「関学より一つでも多く勝ちたい。そして、関学より先には負けたくない」とライバル心をあらわにする選手。「関関の最初の関の字は、

関大一高ということのアピールしたい。もし対戦したら? 4対0で完封勝ちでしょう」と自信満々の選手とさまだ。

キャプテンの横山央宣は「お前らそんなこと言ってるええんか? 怒られても知らんぞ」と顔をしかめながら「関関のセットで話題にされるのは好きじゃないですね。野球の実力で注目されたいんです。マスコミを賑わす99年ぶりという数字にも、あまりピンときません。学校名も今と違うし、ボクらは初出場のつもりでいるので……」。過去のことより今の自分たちを見てほしい、という気持ち

強いのだろう。

そういえば、関西学院の広岡監督がこんな話をしていた。ウチのOB会は、今の選手をとても褒めてくれるんです。スタンドで応援してくれると、何であんなプレーがでけんのや、としよっちゅう思う。でも、俺たちもできなかったから甲子園に出れんかったんや。その点、今の生徒はスコイ。俺たちが出れなかった甲子園に出よった」とね。いいOBでしょう?。83年ぶりの関西学院にしても、89年ぶりの関大一にしても、久し振りにと願うだけでなく、今の選手を称賛してやってほしい。歴史の中で